

2018年7月6日

関係各位

日産化学株式会社
ルクサナバイオテック株式会社

新規核酸医薬品創製を目指した共同研究契約締結のお知らせ

日産化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：木下 小次郎、以下「日産化学」）とルクサナバイオテック株式会社（本社：大阪府吹田市、代表取締役社長：佐藤 秀昭、以下「ルクサナバイオテック」）は、両社の保有する核酸医薬品創薬基盤技術を結集し、新たな核酸構造による新規核酸医薬候補品の創出を目的とする共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

日産化学はこれまで、当社独自の核酸構造を用いた核酸医薬品創薬基盤研究を行ってまいりました。また、ルクサナバイオテックは、大阪大学大学院薬学研究科生物有機化学分野（小比賀聡教授）で蓄積された核酸化学要素技術を基礎として、より安全かつ効果的な核酸医薬品の実用化に取り組んでいます。両社は、これまでに効果的な治療法がなかった疾患に苦しむ患者様とそのご家族様に、日本発の革新的核酸医薬品による新たな治療法を提供することを目指し、お互いの強みを活かしてまいります。

核酸医薬品について

核酸、または修飾核酸が直鎖上に結合したオリゴ核酸を活性本体とし、タンパク質の発現を伴わずに疾患の治療に繋がる標的分子に直接作用することで薬効を示します。従来の低分子医薬品や抗体医薬品に比較し、標的分子に対して高い結合特異性と親和性を示すことから安全性が高く、かつ抗体医薬品に比べ安価に大量生産可能であるため医療経済の観点からも魅力的な次世代医薬品として期待されています。

ルクサナバイオテック株式会社について

ルクサナバイオテックは、大阪大学大学院薬学研究科・小比賀聡教授の新規修飾核酸に関する研究成果を社会実装する目的で、2017年12月に設立されました。修飾核酸とは、天然の核酸（DNA、RNA）に化学修飾を加えることで物性を変化させ、天然の核酸にはない人工的な機能を有した核酸を意味します。

ルクサナバイオテックは、修飾核酸技術のモノマー群（核酸合成物を構成する部品素材）と、これらのモノマー群を核酸合成物に設計する配列デザインノウハウをコア技術としており、これらの技術を、核酸医薬品を開発する製薬メーカーに広く提供することにより、創薬シー



ズ創出を行うことを主事業としています。詳細はホームページをご覧ください。
<http://luxnabiotech.co.jp/>

日産化学株式会社について

日産化学は、「人類の生存と発展に貢献する企業グループ」というコーポレートビジョンの実現に向け、これまで培ってきたコア技術を駆使し、新製品の開発、新事業の創出にまい進しています。医薬品事業としては、1982年に進出して以来、ケトプロフェンの外用製剤、カルシウム拮抗剤、スタチン系脂質異常症治療剤を上市してきました。今後も精密有機合成技術、戦略的に構築した化合物ライブラリおよび最先端評価機能を活用し、世界中のかけがえのない生命と笑顔のために、画期的新薬の研究開発に挑戦し続けてまいります。詳細はホームページをご覧ください。<https://www.nissanchem.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先

日産化学株式会社 経営企画部 CSR・広報室

TEL : 03-3296-8320

ルクサナバイオテック株式会社

TEL : 06-6105-6193